

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2005-149317(P2005-149317A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-388377(P2003-388377)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/46 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成手段と、

前記生成手段が生成した前記画像形成ジョブに基づいて用紙に画像を形成する画像形成手段と、

前記画像形成手段にて用紙に画像を形成させるべく、前記画像形成手段に画像データを出力する出力手段と、

前記画像形成ジョブの実行中に、特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したか否かを検知する搬送不良検知手段と、

前記特定ページの画像データを前記出力手段により再出力させるか否かを、前記生成手段が生成した前記画像形成ジョブに含まれる情報に基づいて指定する指定手段と、

前記特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したと前記搬送不良検知手段が検知した場合、前記指定手段の指定に基づいて、前記特定ページの画像データを再出力させる第1の制御モードと、前記特定ページの画像データを再出力させない第2の制御モードのいずれかで前記出力手段を制御する制御手段と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記生成手段は、外部装置から画像形成ジョブを受信することで前記画像形成ジョブを生成することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記生成手段は、複数ページの原稿を複数ページの画像データとして読み取ることで前記画像形成ジョブを生成することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記指定手段は、前記画像形成ジョブに前記画像形成ジョブが前記出力手段により再出力させるべきジョブである旨の情報が付加されている場合に、前記特定ページの画像データを前記出力手段により再出力させると指定することを特徴とする請求項1乃至3のいず

れか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記指定手段は、前記画像形成ジョブに関する情報に前記特定ページが前記出力手段により再出力させるべきページである旨の情報が付加されている場合に、前記特定ページの画像データを前記出力手段により再出力させると指定することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記画像形成ジョブは、複数ページの画像データを含む第 1 の文書情報と、複数ページの画像データを含む第 2 の文書情報とを有し、

前記指定手段は、前記第 1 の文書情報に前記第 1 の文書情報が前記出力手段により再出力させるべき文書である旨の情報が付加されている場合に、前記第 1 の文書情報にかかる所定ページの画像データを前記出力手段により再出力させると指定することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記出力手段が出力する画像データを保持する保持手段と、

前記画像形成ジョブの所定ページの画像データにかかる用紙が前記画像形成装置から排出されたか否かを検知する排出検知手段とを有し、

前記保持手段は、前記特定ページの画像データにかかる用紙が前記画像形成装置から排出されたと前記排出検知手段が検知したことに応じて、前記所定ページの画像データを消去することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成手段と、

前記画像形成ジョブにかかる特定ページの用紙に搬送不良が発生したことに応じて、前記特定ページの画像データを画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報を前記画像形成ジョブに付加する付加手段と、

前記付加手段により前記画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報が付加された前記画像形成ジョブを前記画像形成装置に送信する送信手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 9】

前記付加手段は、前記画像形成ジョブが前記画像形成装置に再出力させるべきジョブであるか否かの情報を前記画像形成ジョブに付加することを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記付加手段は、前記画像形成ジョブにかかる複数ページの各ページについて、前記画像形成装置に再出力させるべきページであるか否かの情報を前記画像形成ジョブに付加することを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記画像形成ジョブは、複数ページの画像データを含む第 1 の文書情報と、複数ページの画像データを含む第 2 の文書情報とを有し、

前記付加手段は、前記特定ページを含む前記第 1 の文書情報が前記画像形成装置に再出力させるべき文書情報であるか否かの情報を前記画像形成ジョブに付加することを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成ステップと、

前記画像形成ジョブにかかる画像データを出力する出力ステップと、

前記出力ステップにて出力された前記画像データに基づいて用紙に画像を形成する画像形成ステップと、

前記画像形成ジョブの実行中に、特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したか否かを検知する搬送不良検知ステップと、

前記特定ページの画像データを前記出力ステップにて再出力させるか否かを、前記生成

ステップにて生成された前記画像形成ジョブに関する情報に基づいて指定する指定ステップと、

前記特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したと前記搬送不良検知ステップにて検知された場合、前記指定ステップにおける指定に基づいて、前記特定ページの画像データを前記出力ステップにより再出力させる第1の制御モードと、前記特定ページの画像データを前記出力ステップにより再出力させない第2の制御モードのいずれかで制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする画像形成方法。

【請求項13】

複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成ステップと、

前記画像形成ジョブにかかる特定ページの用紙に搬送不良が発生したことに応じて、前記特定ページの画像データを画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報を前記画像形成ジョブに付加する付加ステップと、

前記付加ステップにて前記画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報が付加された前記画像形成ジョブを前記画像形成装置に送信する送信ステップと、

を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項14】

請求項12に記載の画像形成方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項15】

請求項13に記載の情報処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置、情報処理装置、画像形成方法、情報処理方法及びプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、機密性の高い文書を印刷する目的下において好適な画像形成装置、情報処理装置、画像形成方法、情報処理方法及びプログラムに関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明の目的は、例えば請求書等のような重要文書の場合には再印刷（ジャムリカバリ）による2重印刷を防ぎ、通常の文書を印刷する場合には再印刷によって常に正常な印刷結果を得るという使い分けをジョブ単位で簡単に切り替えることにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の画像形成装置は、複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成手段と、前記生成手段が生成した前記画像形成ジョブに基づいて用紙に画像を形成する画像形成手段と、前記画像形成手段にて用紙に画像を形成させるべく、前記画像形成手段に画像データを出力する出力手段と、前記画像形成ジョブの実行中に、特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したか否かを検知する搬送不良検知手段と、前記特定ページの画像データを前記出力手段により再出力させるか否かを、前記生成手段が生成した前記画像形成ジョブに含まれる情報に基づいて指定する指定手段と、前記特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したと前記搬送不良検知手段が検知した場合、前記指定手段の指定に基づいて、前記特定ページの画像データを再出力させる第1の制御モードと、前記特定ページの画像データを再出力させない第2の制御モードのいずれかで前記出力手段を制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

本発明の情報処理装置は、複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成手段と、前記画像形成ジョブにかかる特定ページの用紙に搬送不良が発生したことにより、前記特定ページの画像データを画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報を前記画像形成ジョブに付加する付加手段と、前記付加手段により前記画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報が付加された前記画像形成ジョブを前記画像形成装置に送信する送信手段と、を有することを特徴とする。

本発明の画像形成方法は、複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成ステップと、前記画像形成ジョブにかかる画像データを出力する出力ステップと、前記出力ステップにて出力された前記画像データに基づいて用紙に画像を形成する画像形成ステップと、前記画像形成ジョブの実行中に、特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したか否かを検知する搬送不良検知ステップと、前記特定ページの画像データを前記出力ステップにて再出力させるか否かを、前記生成ステップにて生成された前記画像形成ジョブに関する情報に基づいて指定する指定ステップと、前記特定ページの画像データにかかる用紙の搬送不良が発生したと前記搬送不良検知ステップにて検知された場合、前記指定ステップにおける指定に基づいて、前記特定ページの画像データを前記出力ステップにより再出力させる第1の制御モードと、前記特定ページの画像データを前記出力ステップにより再出力させない第2の制御モードのいずれかで制御する制御ステップと、を有することを特徴とする。

本発明の情報処理方法は、複数ページの画像データにかかる画像形成ジョブを生成する生成ステップと、前記画像形成ジョブにかかる特定ページの用紙に搬送不良が発生したことにより、前記特定ページの画像データを画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報を前記画像形成ジョブに付加する付加ステップと、前記付加ステップにて前記画像形成装置に再出力させるか否かを指定する情報が付加された前記画像形成ジョブを前記画像形成装置に送信する送信ステップと、を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、画像データの出力時においてジャムが発生した場合に当該画像データを再出力させるか否かをジョブ単位で切り替えることが可能であるため、例えば請求書等のような重要文書の場合には再出力による2重出力を防ぎ、通常の文書を出力する場合には再出力によって常に正常な出力結果が得られるという使い分けが可能となる。